

## ●最近の県内経済

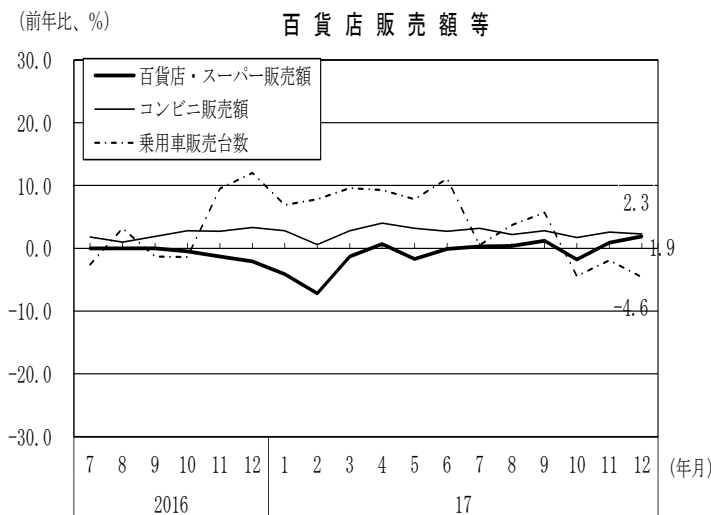
**基調判断**  
(2017年12月を中心として)



### 今月の概要

県内景気は緩やかに回復している。

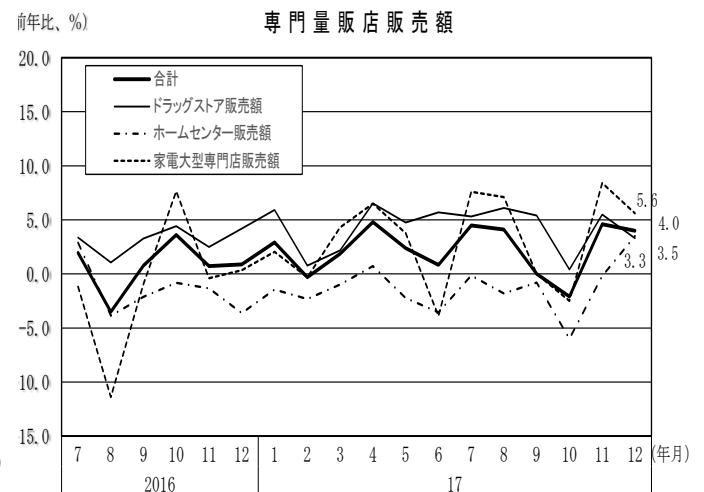
## 1 個人消費 持ち直し



(資料)経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

12月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、1,065億円の前年比1.9%増加した。百貨店は同2.3%減少したが、スーパーは、農産物の価格上昇もあって、生鮮食品を中心に同3.2%増加した。コンビニ販売は同2.3%と増加を続けている。

乗用車販売(軽含む)は、同4.6%減と3か月連続で減少した。内訳をみると、普通車が増加したものの、小型車が引き続き減少し、軽乗用車が10か月ぶりに減少した。

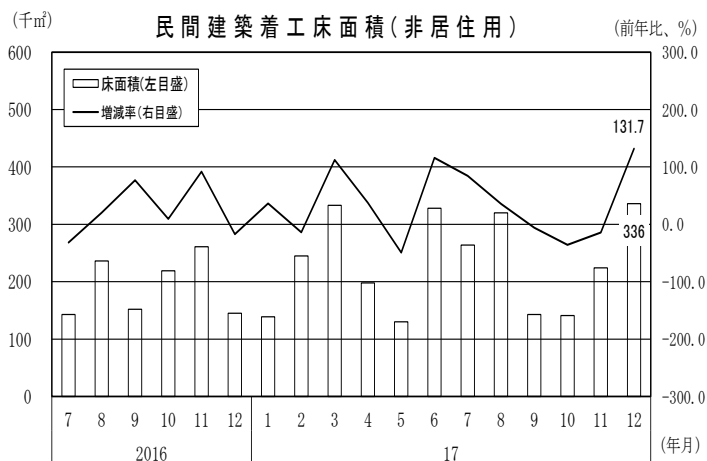


(資料)経済産業省

12月の専門量販店販売額は、758億円で同4.0%増加した。

内訳をみると、ドラッグストアは、342億円で同3.3%と増加が続いているほか、家電大型専門店は、生活家電、情報家電などを中心に、204億円で同5.6%と2か月連続で増加し、ホームセンターは、211億円で同3.5%と8か月ぶりに増加した。

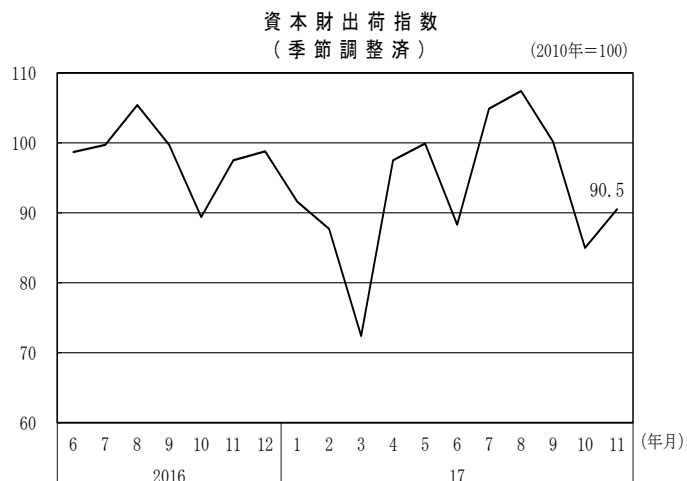
## 2 設備投資 増加基調



(資料)国土交通省

12月の民間建築着工床面積(非居住用)は、336千㎡で前年比131.7%増加した。

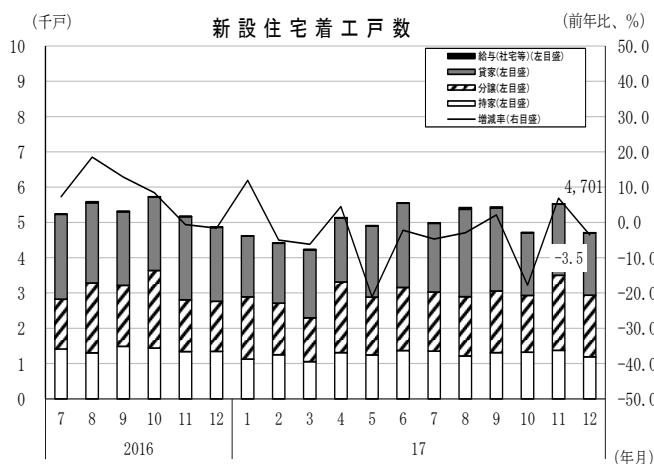
用途別でみると、店舗などが減少したものの、事務所、工場及び作業場のほか、大規模着工があった倉庫が増加した。



(資料)埼玉県

11月の資本財出荷指数(季節調整済)は、90.5で3か月ぶりに上昇した。

## 3 住宅建設 弱含み

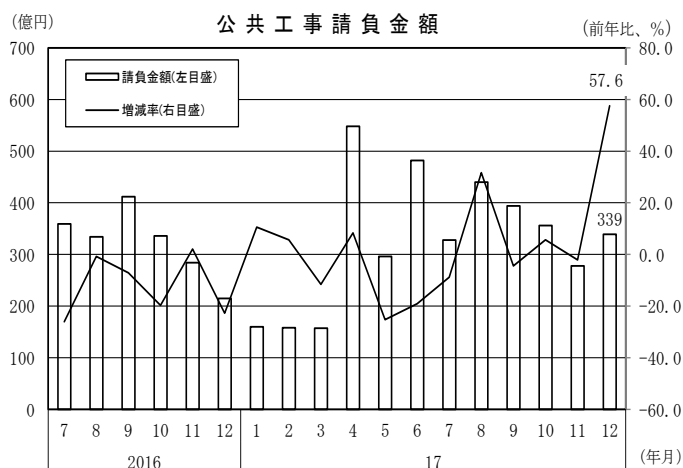


(資料)国土交通省

12月の新設住宅着工戸数は、4,701戸で前年比3.5%減少した。

利用関係別にみると、分譲住宅は、戸建てが1,300戸で同0.1%増加し、マンションが446戸で同291.2%増加したものの、持家は1,190戸で同11.7%減少し、貸家は1,763戸で同16.0%減と3か月連続で減少した。

## 4 公共工事 持ち直しの動き

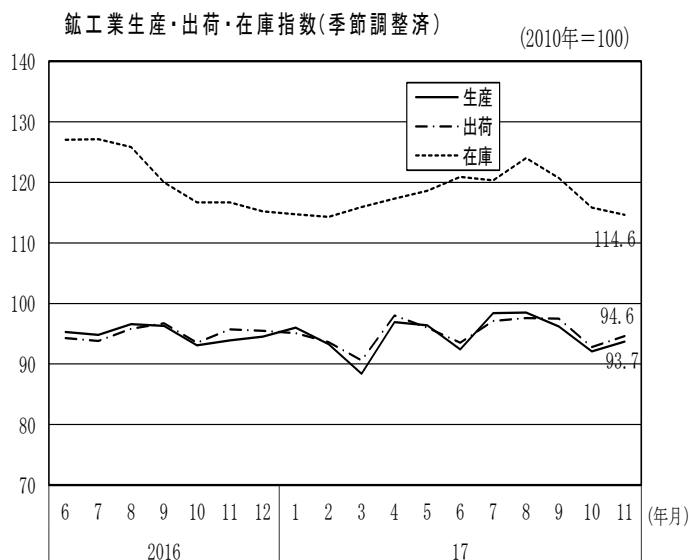


(資料)東日本建設業保証株式会社

12月の公共工事請負額は、339億円の前年比57.6%増加した。

発注者別でみると、地方公社が減少したものの、国、独立行政法人等、県、市町村がいずれも増加した。

## 5 生産活動 持ち直しの動き

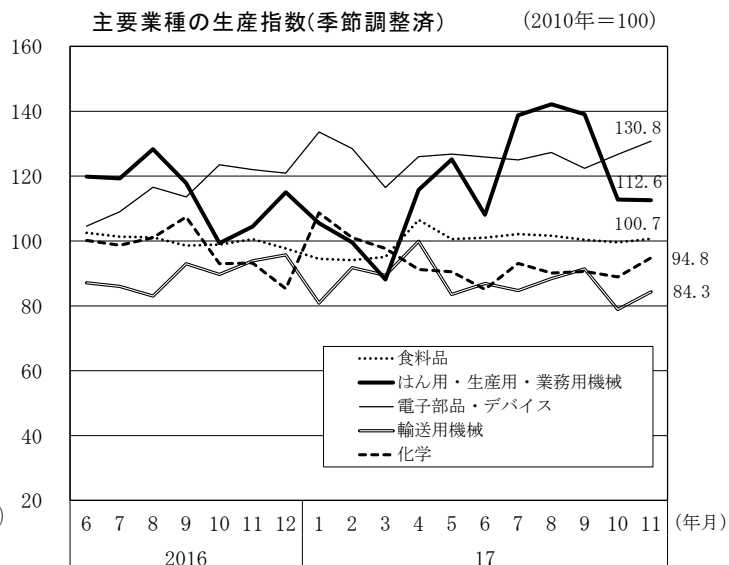


(資料)埼玉県

11月の生産指数(季節調整済)は、93.7で前月比1.7%と3か月ぶりに上昇した。全23業種中、業務用機械、はん用機械など10業種が低下したが、生産用機械、輸送用機械、電子部品・デバイス、化学など13業種が上昇した。

出荷指数(同)は、94.6で同1.9%上昇した。全23業種中、業務用機械、はん用機械、電子部品・デバイスなど6業種が低下したが、生産用機械、輸送用機械、化学など17業種が上昇した。

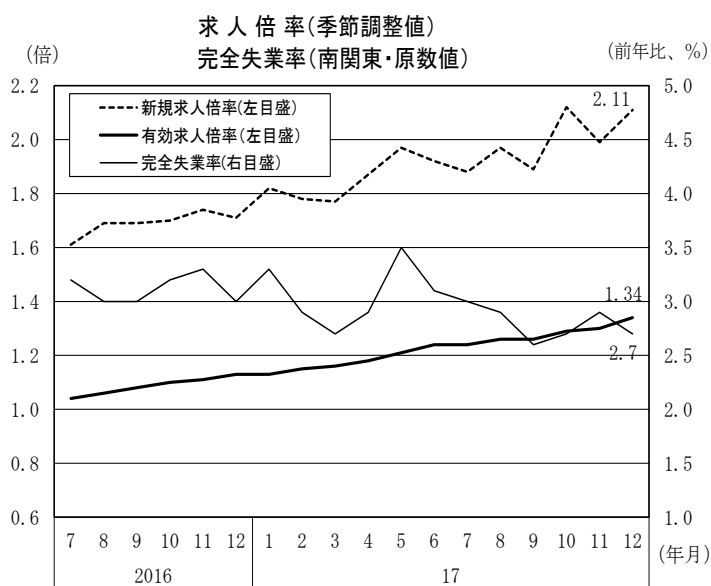
在庫指数(同)は、114.6と同1.0%低下した。全20業種中、はん用機械、生産用機械、電気機械、プラスチック製品など11業種が上昇したが、輸送用機械、窯業・土石製品など9業種が低下した。



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品：11月の生産指数(季節調整済)は、100.7(前月比+1.1%)となり、4か月ぶりに上昇した。
- ◆ 電子部品・デバイス：11月(同)は、130.8(前月比+3.2%)となり、2か月連続で上昇した。
- ◆ はん用・生産用・業務用機械：11月(同)は、112.6(前月比▲0.2%)となった。生産用機械が上昇したものの、はん用機械と業務用機械が低下した。
- ◆ 輸送用機械：11月(同)は、84.3(前月比+6.8%)となり、2か月ぶりに上昇した。乗用車や自動車エンジン、輸送機械用エアコンが上昇した。
- ◆ 化学：11月(同)は、94.8(前月比+6.6%)となり、2か月ぶりに上昇した。医薬品、印刷インキ等が上昇した。

## 6 雇用情勢 着実に改善



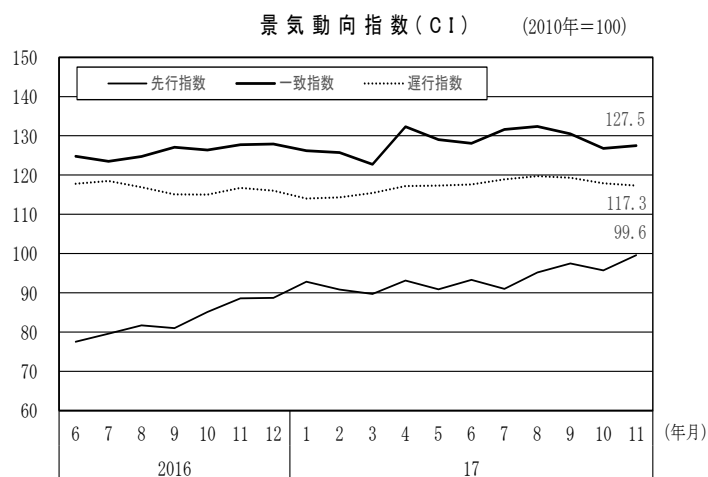
(資料)厚生労働省、総務省

12月の新規求人倍率(季調済)は、2.11倍で前月比0.12ポイント、有効求人倍率(同)は、1.34倍で同0.04ポイントとともに上昇した。

また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.7%と同0.2ポイント改善した。

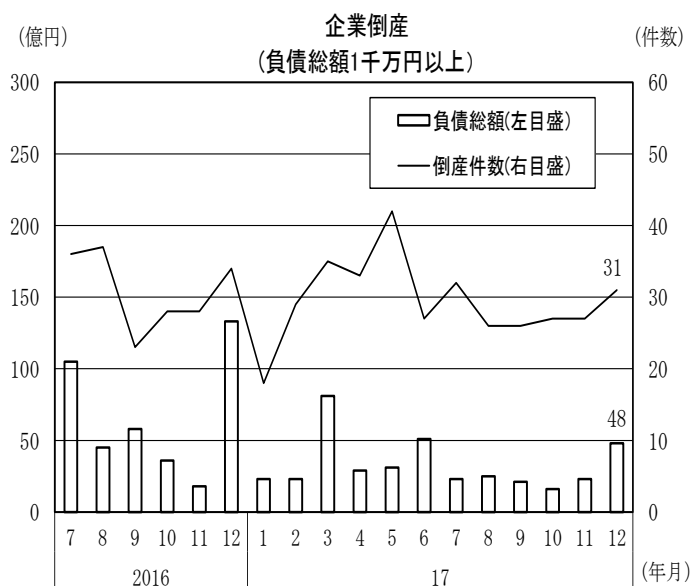
## 〈参考〉

### 景気動向指数(CI)：改善を示している



(資料)埼玉県

## 7 企業倒産 件数、金額ともに減少



(資料)帝国データバンク

12月の企業倒産件数は、31件で前年同月比3件の減少となった。また、負債総額も、48億円で同85億円の減少となった。

業種別にみると、建設業が8件(構成比25.8%)で最も多く、次いでサービス業が6件、卸売業と小売業が各々5件、製造業が4件となっている。

要因別では、販売不振が27件(構成比87.1%)で最も多くなっている。

11月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、127.5で前月比0.7ポイントと3か月ぶりに上昇した。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、99.6で前月比3.9ポイントと2か月ぶりに上昇した。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、117.3で同0.6ポイントと3か月連続で低下した。